

# 広報 ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課 電話(018876)代 2100番  
印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 (一部 五円)  
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

## 人口と世帯

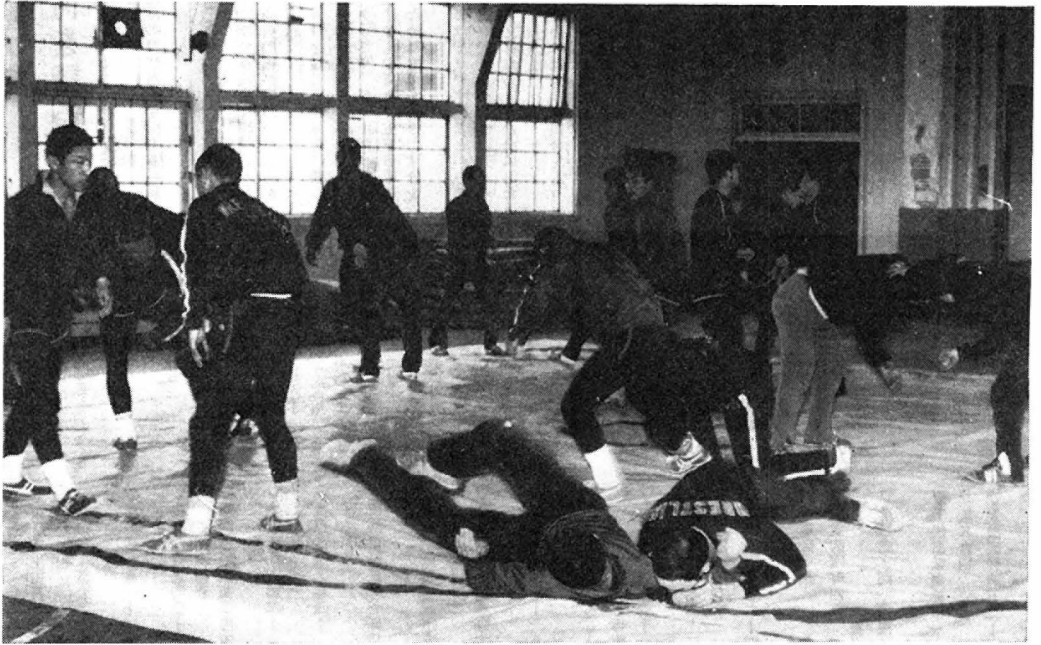
世帯数	3,934	世帯	前月比 +4	累計 +2	
人口	19,172	人	+3	-19	
内訳	男	9,362	人	-7	-21
	女	9,810	人	+10	+2

住民登録調 (2月28日現在)

転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。

・ 秋田県五城目町 ・

※町政と町民をむすぶ広報紙



伸びゆく若い芽

インターハイ全国優勝をめざして練習にはげむ  
五高レスリング部

(五城目高等学校提供)

### これからの行事

10日 町議会3月定例会	前 10,00	役場	(~22日)	25日 交通指導隊協議会	後 1,30	役場
21日 五連青最終代議員会	前 9,30	公民館		25日 火災予防組合役員会	後 1,00	消防庁舎
21日 婦人生活者会議	前 10,00	消防庁舎		26日 交通安全対策協議会	後 1,30	役場
22日 民生委員協議会	後 1,00	役場		26日 林業構造改善協議会	前 9,30	役場
22日 北ノ又分校廃校式	前 11,00	北ノ又		27日 消防幹部会	後 1,00	消防庁舎
23日 青少年問題協議会	後 1,30	役場		28日 固定資産評価審査委員会	前 10,00	役場
23日 農業指導センター運営委員会	前 9,30	役場		28日 学農連盟総会	前 10,00	公民館
23日 スポーツ少年団別れのつどい	後 2,00	五小		30日 選挙管理委員会	前 8,00	役場

### おもな内容

- 2面 森山会(在京町出身者の会)  
五城目町の100年
- 3面 町政懇談会  
出稼者へとどけよう郷土のたより
- 4面 環境美化は住民1人1人  
ゴミ収集日  
新学期を迎えるにあたって

### 火とことわざ

泉谷 春治

火は生活と密着しているだけに、ことわざなどに豊かな言い伝えがある。  
「泥棒の取り残しはあつても火事の取り残しはない」という。

泥棒に盗まれたものは、現象的には位置の物理的変化であつて、そのものの価値効用は変らぬはずであるが、火災は化学的变化であるので価値そのものを滅失させてしまう。しかし、このように盗まれたようなことをいっても盗まれたらやはりくやしに違いない。

あとで後悔することを「焼けあとの火の用心」とか、「火を失して池を掘る」といふ今さら役に立たぬことを「火事の跡の釘拾い」という。  
世帯に関するものでは、「世帯と火焚きは小さなところから」始まる。かつては「夏の火は嫁に焚せ」たり「婿は火を焚く」などといわれ家族制度であつたが、近頃では親と別居の新世帯である。

ハデに見えても家計は「火の車」月給日近くなる。「爪に火をとます」「尻に火がついてくれれば」「顔から火の出る想い」までして質屋で間に合わせるのを「付焼酎」といふ。ここで高利貸しのお世話になると「飛んで火に入る夏の虫」で、結局は「火を避けて水に陥る」とことなつてしまふ。

これらが火災の多く発生する季節になります。充分火の元にご注意ください。(消防署長)



### 森山会—本町出身在京者の会

## ふるさとの山河を語る

本町出身の東京在住者で結成されている「森山会」(会長笹尾克己)の定期総会はさる三月六日東京上野の「タカラホテル」を会場にして開催されました。

当日は会員三十二人と町から町長が出席し、はじめに会長と町長



あいさつをする笹尾会長

ふんだんに飛び出す場面もみられた。

### 笹尾会長のあいさつ

このたびの森山会は昨年よりもさらに会員の輪が広がったことをうれしく思う。

今日の会合を通じて、さらに新しい明日のエネルギーにしたい。なつかしさや、思い出だけを感ずるだけののではなく五城目町の発展のためになにかの手はずをしたい。

はじめはやりやすいことからはじめ、若い五城目出身者の方々の心のささえになるような会にしたがい。

そのためにはこの森山会をもっと組織だてていく必要がある。ふるさとへの期待にそえるようにさらになんばりたい。

### 加賀谷町長のあいさつ

昨年この会に参加する機会がありました。その状況を町民の方々に報告したところ大きな反響があった。

これまで町民の心には、町が鉄道沿線から離れているということと悲観的なものがあつたが、昨年開催した種苗交換会は内外から多数の参観者があつた。

このことは交通事情の変化をあらわしており、町民の自信にもつながつており、町民の自信にもつなぐ方向にある。

今年森山会には若い会員が多く参加されたことで、はなやいな雰囲気ななかで、ふるさとの話題、近況の紹介などお国なまりが

ない方々が東京を中心にして就職しておりますが、この組織を生かしながらよろしくご指導をねがいたい。さらに町の発展のためにもいろいろとご助言をいただきました。

みなさんのご健闘をお祈りします。

### 出席会員名

▽豊島区集島町一―二―二二 浦井ケイ

▽台東区東上野四―一七―四 石川 忠夫

▽渋谷区幡ヶ谷三―七六―一八 宮川 笑

▽板橋区仲宿四九―〇六 横山方

▽杉並区高円寺南五丁目一〇―二三 三和荘 佐々木美智子

▽横浜市神奈川区羽沢町九八四 羽沢テラス 伊藤 行雄

▽神奈川県相模原市淵野辺野九六 斎藤 芳幸

▽台東区上根岸八九 林家方 一岡マサ子



若い会員もたのしそ

▽世田谷区大原一―二―一七 笹尾 克己

▽北多摩郡猪江町猪方三―〇六―一八 渡辺 貞三

▽川崎市大師野七九 菅沢 広吉

▽川崎市生田月見台一―九九―七 菅沢永之助

▽新宿区下落合一―五五―一六 工藤 イチ

▽杉並区和泉一―三五―一七 小林彦司郎

▽渋谷区東比寿三―一六―一九 斎藤 隆広

▽横浜市港南区菊名町五九二―九 渡辺 勝男

▽中野区江古田二―一―一五 錦織静之助

▽台東区池ノ端四―一六―一 分銅 淳作

▽横浜市保戸ヶ谷区仏町二―二〇 郷野岡心一

▽神奈川県相模原市大沼字長久保 三五〇―一―二 工藤 行雄

▽千葉県船橋市本町六―一三―一五 二 関 朝子

▽渋谷区本町四―一八―一六 千田マチ子

▽江戸川区春江町二―四―一〇 草暗晴司、ヤエ子

▽太田区大森北一―〇一―一 原田 直敏

▽渋谷区代々木四―二七―六 代々木林ビル 小玉 金弥

▽太田区靴ヶ谷二―二四―一九 越高 良男

▽板橋区役所 千葉 哲郎

▽足立区曙町四九 長谷川修治、静江

▽港区虎ノ門一〇虎ノ門ビル 佐藤 良夫

▽千代田区東神田一―四一―六 KK吉田 山崎 満

▽太田区仲池上二―二―二一 原田 広治

## 五城目町の100年

(28)

### 医療組合 病院開業

小野 一二

前回初めての新聞として桜庭時治が編集発行した「湖東時報」とりあげたが、実はそれ以前大正十年二月一日創刊の「羽城新聞」外二三のものがある。しかし本格的な新聞の体裁で、定期的に長い間わたって発行がつけられたのは「湖東時報」が最初だった。



昭和35年ごろの湖東病院(新町)

医療機関の出現は大問題だった。そうした反対はあったが、八月三十日病院建設の第一回協議会が北島町長も出席して開かれ、病院の経営は「医療組合」を設けて当ることと、組合の出資は一口五百円とし二口を付近七ヶ町村から募ることを決めていた。この後北島松治郎が新聞に詳細な計画を発表、大衆の関心による大々的な医療施設の必要をキャンペーにした。世論は付近の町村からもりあがり、定期的に十月に入ってからわたって発行がつけられたのは「湖東時報」が最初だった。

この新聞の昭和七年元日号に薬局経営の今村久蔵が「設備の完全な病院がほしいものだ」と書いている。その頃の医療機関は聖尼医院、根田医院、三浦医院、岩谷医院、若松医院、安東南科医院、村歯科医院、田口南科医院、畑沢鍼灸院(以上五城目草暗晴司)、馬場目、小松医院(一日市)、小玉医院、金城医院(以上上馬場)桑名医院(下井河)だが、ちよとした手術や検査となると、秋田まで出なければならなかった。町内外の識者の間に総合病院設置を望む声があがっていた。一方では開業医の反対も根強いものがあつた。

湖東病院が開設する直前医師会では医療費の値下げなどを含めたサビビス改善をして、対抗策を出している。一般開業医にとって総合病院が誕生したのである。

次に組合役員をあげておきたい理事近藤泰助(組合長)今村久蔵(専務)鈴木喜太郎、渡辺松治郎、高田太郎、館岡敏太郎、伊藤藤治、北島松太郎、斎藤徳太郎、小玉孫三、頼岡北島卯一郎、菊地庄之助、渡辺徳太郎、渡辺彦兵衛、湖東部の最初で、渡辺一ツの湖東病院が誕生したのである。

### 町内会長と懇談

## 道路網整備に力こぶ

町では去る二日役場で町内会長と町政懇談会を催しました。

当日は町内会長四十七人、また加賀谷町長、伊藤助役、若松収入役をはじめ各課室長が出席しました。

加賀谷町長からは種苗交換会の成功をもとに、町発展をはかっている旨が述べられました。

それによると町部については、あくど開発、総合グラウンド建設などの推進、農村部においては米の生産調整というきびしい状況にあるが、こうした時こそ、これをうまく活用して、土地基盤の整備につとめてほしい、町も積極的につとめたいことを約束しました。

また当面する最大の課題は道路網(二八五号線全線舗装の推進、大川の農道整備、五城目・増浦線の開通)の整備、保育所の設置、地場産業の振興、児童手当(宅千円から参千円)の充実などをあけ協力と呼びかけました。

このあと各課室長からお願いや、今後の計画の説明がありました。おもな内容はつぎのとおりです。

小玉産業課長：米の生産調整は、一・四六〇トンで昨年(六五九〇トン)の二・一四倍で二九二ヘクタールときびしい状況になっていま

す。千田水道課長：モートル車を四十六年から「カベ」かけにします。検針は年三回として余った労力を

サード面にまわしたい。一関消防本部司令：出稼ぎなどで消防力の低下を防止するため、消防協力隊をつくりたいとのべ注目されました。

この後質疑応答がありおもな内容



町への要望をのべる町内会長

加賀谷町長：ポリ袋の活用について改善を加えていきたい。美化運動には協力してほしい。石井勝雄(黒土)：町として独自の減反政策について

小玉産業課長：転作の奨励、また町としても上積みを考慮するとともに、昨年から実施した町独自の通年施行の活用をしてほしい。館岡一郎(上高崎)：減反について

もなる出稼ぎ解消、女性でも働ける工場の誘致をしてほしい。加賀谷町長：出稼ぎは防くことにはできないが、害を少なくするようにしていきたい。

荒川安悦(桑地町)：あかつき寮の改築の政策、処理の意思はないか、戸村せきを衛生的にとりかはらうしてほしい。加賀谷町長：あかつき寮の改築補修は考えている。戸村振の美化について留意していきたい。

このあと、懇談会などがあり、午後五時散会した。

### 子どもの火遊び

## 山火事の防止

子供の野火遊びや歩行喫煙は絶対やめましょう。

山火事は近年増加の傾向にあり、当町においても、小倉の山火事と森山の山火事も、最近ない大きな損害をこうむっております。山火事の大半は、雪も消え野山の地物が乾燥する、四月、五月に集中的に発生しております。

その原因は、タバコや焚火の不始末、火遊びにより発生し、一旦発生すると、初起消火が困難なため、広範囲にわたって延焼することが多く、永年大切に育てて来た、貴重な森林資源を、焼損してしま

います。お互いが、次の事項に注意し、森林資源の保護のため、山火事を無くしたいものです。

一、春休みを控えた子ども供達の山遊びが多くなりますが、火遊びをしないよう声をかけるとともに、マッチやライター等の持出しには、くれぐれも注意してください。

二、山菜採り等のため入山した場合は、歩きながらの煙草は絶対やめるとともに、後始末は完全に行なってください。

三、山の火入れをする際は、必ず消防署に届出をし、火災予防上の指示を受け、防火線等を有設してから行なってください。

三、山の火入れをする際は、必ず消防署に届出をし、火災予防上の指示を受け、防火線等を有設してから行なってください。

### 町への要望をのべる町内会長

加賀谷町長：ポリ袋の活用について改善を加えていきたい。美化運動には協力してほしい。石井勝雄(黒土)：町として独自の減反政策について

### 第93回秋田県種苗交換会五城目町協賛会収支決算(見込)書

収 入	決算額(見込)	支 出	決算額(見込)
町負担金	6,444,757	総務部費	4,797,820
協賛金	6,182,600	経理部費	550
交付金	40,000	渉外宣伝部費	2,299,280
使用料	1,475,950	運営部費	1,040,150
諸収入	2,542,777	施設部費	7,665,621
		警備部費	315,000
		交通部費	493,704
		衛生部費	568,944
		輸送部費	15,000
		接濟部費	1,295
		演芸部費	58,720
収入合計	17,286,084	支出合計	17,286,084

女お見込決算としたのは、次の開催場所である湯沢市の外の小間払い下げ等二件の未収と町負担金補正見込等によるものである。決算の主な内容

横浜市緑区大隈町 作業は団地造成で就労者は八人  
高崎II館岡清助 同広司、同一小玉兼太郎 昭辰町II館岡春蔵 一番町II猿田啓一郎 岩野II猿田日建設 浅見II工藤八四三  
藤田建設KK  
名古屋市中村区稲葉地町五丁目八六、作業は団地取付道路、就労者は一六人。  
高崎II館岡力己、同一夫、同三男、同重治 落合II品山金の助 伊藤勇蔵、同忠一 小倉II佐藤治治郎 上山内II小林喜代治 同甚助、伊藤直吉、同オノノ、品山喜市 上樋口II猿田三之丞 島井儀一、樋口II齋藤礼蔵  
鐘淵紡績四日市工場  
三重県四日市市大字日永二七七五、作業は製紡(最新機械によるもの)就労者は八人。  
八田II小玉オネ 浅見内II工藤カネ 湯ノ又II沢田石利保子 野田II伊藤タミエ 平ノ下II金野キミエ 寺尾II小玉アイ子 水沢II石川リサ 合地II安井光子  
北河建設KK作業所  
愛知県南設楽郡手村字田原 作業は護岸工事で就労者は五城目II長谷川次郎他十七人。  
大和産業KK秋田班  
名古屋市中区東陽町六丁目 作業は舗装のヒーム管入、就労者は高崎II館岡鉄郎他十六人。以上一十七名が元気で働いております。

### 出稼ぎ者へとだけよう 郷土のたより

町内から出稼ぎにいらしているかたが、たへんの手紙を差上げてくださるようお願いいたします。

川崎市浮島町三六〇 作業は大工つとめ、就労者は次の通り。  
湯ノ又II畑沢力之助、同昭二、沢田石政治、畑沢和吉  
東北工管KK加藤班  
横浜市緑区奈良町一八四六 作業は団地造成で就労者は浦横町II加藤榮太郎、小野利三郎、岡本II千田源太郎 大川II小原哲郎、浅野日之松、加藤盛

町内から出稼ぎにいらしているかたが、たへんの手紙を差上げてくださるようお願いいたします。

川崎市浮島町三六〇 作業は大工つとめ、就労者は次の通り。  
湯ノ又II畑沢力之助、同昭二、沢田石政治、畑沢和吉  
東北工管KK加藤班  
横浜市緑区奈良町一八四六 作業は団地造成で就労者は浦横町II加藤榮太郎、小野利三郎、岡本II千田源太郎 大川II小原哲郎、浅野日之松、加藤盛

# 暮らしの案内

## 環境美化は 住民一人一人の理解から (2)

### ▽ごみ収集処理の現状

現在本町約千二百世帯を対象に、町でごみ収集処理をしているが、ポリ袋、標箋の活用が予想より下廻っている。それが自家処理と不法投棄にもつながっていることと関係している。また可燃ごみの中に燃えなかつた燃えにくいものも混入しているのので、各家庭でのご注意をお願いいたします。

### ▽ごみ等環境への汚染

ごみ等の不法投棄で河川や橋上などの汚れが目につくことと、更に製材所等のオガ屑等近くの住民から苦情が絶えない状態です。風等でオガ屑が家の中に入り込んだり、屋根等のトタンの合せ目にオガ屑が入り込んで、雨漏りや腐食の原因になるなど、また外

### 農村部のごみ処理推進

本町部は従来通りですがポリ袋標箋の活用を促し、不法投棄等のないように対処したい。なお本町

材等の匂いで近くの住民が迷惑を訴えております。これ等についてはお互いに注意し合い、対策を講じて対処してほしいものです。

更に近く調査指導を行ないます

が、町の一部では小川の終末処理が極めて不衛生になっている家庭もあることと、五城目市場のごみも市日ごとに取り集していますが、市日のごみに一般家庭のごみが毎回相当量まざり込むことです。

どのだとかなり遠くからわざわざごみを運んで来て、市場へ捨てて行く人もあることと、全くあきらめたこととです。

### 小学校

五城目小 4月1日(木)後2時  
馬場小 4月1日(木)前10時30分  
馬場小 4月1日(木)前11時  
富津内小 4月1日(木)前11時  
内川小 4月1日(木)前10時  
大川小 4月1日(木)前10時

### ▽中学校

五一中 4月1日(木)後1時



### 町内各学校入學式

以外地域には年三回位(四〜五月、七〜八月、十一月〜十二月)を不燃物(ガラス類、金属類等)を町で収集処理いたします。広く住民の理解と協力をお願いします。

各家庭や事業所等から排出されるごみは、基本的には各家庭や事業所等の責任において処理することとすので、お互いがきれいな環境で快適な生活をする、深い理解とまいたる努力を望んでやみませ

### ▽幼稚園

五城目高 4月7日(水)前10時  
大川 4月5日(月)前10時

### ▽保育園

内川 4月6日(火)後1時  
富津内 4月7日(水)後1時  
杉沢 4月8日(木)後1時  
馬場目 4月9日(金)後1時

### 交通災害共済へ 早目にどうぞ

昭和四十六年度(昭和四十六年四月一日から昭和四十七年三月三十一日まで)の加入申込を受け付けておりますから、万一の交通事故災害に備えて是非一家そろってすく共済に加入するようおすすめて

杉沢中 4月1日(木)後1時  
大川中 4月1日(木)前10時  
富津内中 4月1日(木)前10時  
馬場目中 4月1日(木)前10時

## ごみ収集日

家から出るごみ収集日はつぎのとおりです。

町名	月			
	1回	2回	3回	4回
希望ヶ丘	7	13	20	27
希田今	7	13	20	27
御蔵池	7	13	20	27
小川原	3	10	17	24
新	3	10	17	24
番	3	10	17	24
古新	2	9	16	23
畑	1	8	15	22
崎	1	8	15	22
久	2	9	16	23
長	6	14	21	28
仲	6	14	21	28
津	6	14	21	28
地	5	12	19	25
畑	5	12	19	25
昭	1	8	15	22
原	1	8	15	22
川	3	10	17	24
館	3	10	17	24
城	3	10	17	24
面	23			
内	24			
馬	25			
津	27			
内	28			
富	28			
馬	30			

※収集車の巡回について、つぎの事項にご協力ください。

- 1、収集車が町内を巡回する前に各自のポリ袋を道路へ出しておくこと、またポリ袋の近くに収集車の邪魔になるような物を置かないように。
- 2、収集車が入って行けない小路に面している方は当日巡回道路までポリ袋を適当な場所へ持出して置いてください。
- 3、不燃物には標箋を忘れないでつけてください。

- ◎ポリ袋、標箋は最寄の委託店でお求めください。
- ◆明るくきれいな環境で快適な生活を送りましょう。
- ◆山野や川をみんなで守りましょう。

敏感にすなおになつてくるときに、おとなの悪くせは、子どもがかぎって、かさにかかつて説教することである。新入園、新入学の時期に「しつかりやらねばその子に負けるぞ!」と気合をかけることの教育的意義は薄い。むしろ、心を痛めているであらうと思われる新しい環境への不安感をとり除いてあげること、新しい指導者の信頼感を持たせることこそ教育する親の仕事といえよう。

◆ ◆ ◆  
とかわるなど、学年がすすむ、学期が飛躍的に成長する時期でもある。ただ、一年から二年へ、一学期から二学期へなどという時期は、新

(住民 撰)



## 新学期を迎えるにあたって

また入学に比べると感動は薄いが普通である。おとなの指導の必要とされるポイントは、むしろこの年度成長への自覚の薄い場合にある。子どもに成長への自覚が薄いのは親が子どもを見る目のマンネリ化にも一つの原因があることとされる。からだの成長は目にも見えるが、心の成長、感覚の微妙さは目に見えぬものだから、子どもを、去年の子どもとさして変わりなく見てしまおうということ

一つ高い所へのぼる誇り、まだ見ぬ世界に対する期待で、その小さな胸はいつぱいである。そして、その心の中には、未知の人たちと集団を組んで、家族ではない他のおとなからの支配を受けたいことへの不安とおそれも満ちているのである。だから、自分の進む世界についてのわずかの情報にもこの時期の子どもの敏感である。おとなの悪くせは、子どもがかぎって、かさにかかつて説教することである。新入園、新入学の時期に「しつかりやらねばその子に負けるぞ!」と気合をかけることの教育的意義は薄い。むしろ、心を痛めているであらうと思われる新しい環境への不安感をとり除いてあげること、新しい指導者の信頼感を持たせることこそ教育する親の仕事といえよう。